

立命館創始 140 年・学園創立 110 周年・APU 開学 10 周年記念

「アジア太平洋・学長平和フォーラム

～立命館大学国際平和ミュージアムの理念と活動を踏まえて」実施報告(速報)

2010 年 12 月 11 日、衣笠キャンパスにおいて「核兵器廃絶」と「国際平和構築」に向けた 10 カ国・地域、11 大学の学長・大学代表が出席する「アジア太平洋・学長平和フォーラム」が開催され、「共同声明」が発表されました。ここにその様子を速報します。

1. 実施概要

日時：2010 年 12 月 11 日(土) 10:00～18:30

会場：立命館大学 衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

出席大学の学長・大学代表は、フォーラム開催前日の 10 日に、「世界初にして唯一の大学立の総合的な平和博物館」である立命館大学国際平和ミュージアムを見学されました。翌 11 日、立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルームにおいて、会場を満席にして 10 カ国・地域、11 大学の学長・大学代表が集う「アジア太平洋・学長平和フォーラム～立命館大学国際平和ミュージアムの理念と活動を踏まえて」が開催されました。

参加大学は、アメリカン大学(アメリカ合衆国) ハノイ工科大学(ベトナム社会主義共和国) 慶熙大学(大韓民国) マコーリー大学(オーストラリア連邦) 国立台湾師範大学(台湾) 北京大学(中華人民共和国) タマサート大学(タイ王国) プリティッシュ・コロンビア大学(カナダ) インドネシア大学(インドネシア共和国) 立命館アジア太平洋大学(日本) 立命館大学(日本)。

立命館アジア太平洋大学からも 30 名を超える学生の参加があり、多くの学生、教職員、市民を含めて、第 1 部 217 名、第 2 部 145 名、第 3 部 120 名、延べ約 500 名の参加を得、熱気のある真摯な問題提起、討論、意見交換が行なわれました。

2. 開催報告

第 1 部 学長フォーラム(10:00～12:40) 司会：小山昌久国際部部長(国際関係学部教授)

冒頭モンテ・カセム立命館副総長の挨拶に続き、ご来賓挨拶を山田啓二京都府知事、門川大作京都市長よりメッセージの紹介があり、以下のプログラムで進められました。

基調講演が、明石康氏(元国連事務次長、本学客員教授)により行われた後、議長である川口清史立命館大学学長の問題提起「国際平和構築のために、大学は何ができるか？」を踏まえて、各大学学長・大学代表が、平和研究の実践、平和・開発・環境教育の実践、

国連や国際機関との連携による共同研究・教育プログラムの実践、国際教育の展開などについて提言を行ないました。第 1 部「学長フォーラム」の締めくくりとして、川口議長のまとめがなされ、続いて「国際社会の『核兵器廃絶』に向けた取り組みに賛同し、教育・研究機関として『国際平和構築と持続可能な発展』に貢献する」など、5 項目にわたる

「アジア太平洋学長平和フォーラム共同声明」(資料別紙)が発表されました。

第2部 パネルディスカッション「アジア太平洋の平和と持続可能な発展」(14:00～17:40)

午後からは、君島東彦国際関係学部教授がコーディネーターを務め、アジア太平洋の安全保障問題(APUの伊地ゼミ、加藤ゼミ) アジア太平洋における持続可能な発展(RU・経済稲葉ゼミ大学院生) アジア太平洋における環境問題(地球温暖化)(RU・国際関係学部大島ゼミ)の学生・大学院生による報告があり、学長・大学代表のコメントを踏まえて、積極的な質疑応答が行われ、平和を創りあげる国際フォーラムにふさわしい内容となりました。また、立命館大学と立命館アジア太平洋大学の学生による具体的な平和活動の紹介があり、最後に君島教授により全体のまとめが行われました。是永駿立命館アジア太平洋大学学長からの閉会の挨拶によって、「アジア太平洋・学長平和フォーラム」の締めくくりとなりました。

第3部 交流・懇談会(17:40～18:30)

第2部終了後、各大学長とパネルディスカッション参加学生との交流・懇談が、会場を第1体育館1階に移して行われました。フォーラムに参加した学生の多くが、交流・懇談会にも参加し、熱気さめやらない様子で意見交換の続きが行われました。

以上

Asia Pacific University Presidents' Peace Forum
Joint Communiqué

In accordance with the theme of the Asia Pacific University Presidents' Peace Forum held here at Ritsumeikan University on December 11, 2010, and in order to facilitate the realization of our commitments, we hereby agree to issue the following Joint Communiqué:

1. We support the efforts of the international community in the abolition of nuclear weapons. As education and research institutions we aim to contribute to the establishment of world peace and sustainable development.
2. We understand the philosophy and ideals of the Ritsumeikan Charter as well as the social and educational significance of the Kyoto Museum for World Peace. These resources will be effectively utilized in the education of the next generation.
3. We share the view that developing understanding that transcends interdisciplinary boundaries as well as those between theory and practice is essential in creating a better future for society. We strive to promote integration between knowledge and its practical application.
4. On the basis of the partnerships between the participant universities of this forum, we aim to encourage more international student exchanges, improve intercultural understanding, broaden horizons, and foster "global citizen-leaders" who have the capacity to deal with global issues.
5. In cooperation with the UN and other international organizations, we will actively engage in human resources development and research with a view to furthering world peace and sustainable development.

アジア太平洋学長平和フォーラム共同声明

2010年12月11日 立命館大学において開催されたアジア太平洋学長平和フォーラムを受け、次のとおり共同声明を発表する。

1. 国際社会の「核兵器廃絶」に向けた取り組みに賛同し、教育・研究機関として「国際平和構築と持続可能な発展」に貢献する。
2. 立命館憲章の精神と理念、および国際平和ミュージアムの社会的、教育的意義を理解し、次世代を担う人材教育に活かしていく。
3. 異なる学問領域、学問と現実の垣根を越えた相互理解がより良い人類の未来社会の具現に不可欠であるという認識を共有し、知識と実践の連携を促進するよう努力する。
4. 本フォーラムに参加した大学との連携を基礎に、大学間で学生交流を活発化させ、異文化を理解し、国際的視野と知見を広げ、国際的な課題解決に取り組める「グローバル・シチズンシップを備えたリーダー」を養成する。
5. 国連を始めとする国際機関と連携し、「平和構築と持続可能な開発」のための研究活動や人材育成に積極的に参加する。